



## うろこ雲、さば雲ってどんな雲なの

### 雲は10種類に分けられる

空にうかぶ雲は、雲の形を表す名前ではばれたりしています。しかし、その名前のよび名が、地方や国によって、変わったりしていることがあります。よび名がばらばらだと、天気や気象に関する情報を、伝えたりするときに、あやまって伝えられたりすることもあります。

このようなことがないために、1895年に、国際気象学会が開かれて、世界で統一された、雲の種類を分ける基準がつけられました。この基準は、雲の高さと、形によって、10種類に分けたものです。

### 巻積雲や高積雲のこと

雲ができる高さのちがいによって、上層の雲（巻雲、巻積雲、巻層雲）、中層の雲（高積雲、高層雲、乱層雲）、下層の雲（層積雲、層雲）の三つに分けられます。また、上層から下層まで広がる雲に、積雲、積乱雲があります。同じ種類の雲でも、北極や南極の極地方、温帯地方、熱帯地方などの地域のちがいによって、高さが変わります。

うろこ雲、さば雲とよばれている雲は、巻積雲と高積雲です。また、巻積雲は、いわし雲、まだら雲ともよばれ、高積雲は、ひつじ雲、むら雲ともよばれています。

巻積雲は、温帯地方で5～13キロメートルの高さの所に、高積雲は、温帯地方で2～7キロメートルの高さの所に見られます。（監修・村山 貢司）

